

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和6年度事務事業（新規）]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	南区子どもの居場所推進事業	事業番号	215-020
担当部署名	南区役所	局	南保健福祉総合センター
		部	子育て支援課
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～		施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実		
			有	取組の方向性	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援					
		寄与するKPI	有・無	指標名	「自分にはよいところがある（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）」と答えた児童生徒の割合					
			有	現状値	小6 83.1%、中3 73.2%(2019年度)		目標値	小6 90.0%、中3 90.0%(2025年度)		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)貧困をなくそう		ターゲット	1.3		
			有	取組	子どもの居場所確保の推進					
		寄与するKPI	有・無	指標名	児童扶養手当受給者に占める全部支給の割合					
			有	現状値	堺市：55.2%、全国：47.3%(2022年度)		目標値	全国を下回る(2025年)		
2	関連計画			「堺市南区基本計画～みなみスマートビジョン～」						
3	事業開始年度			令和 6 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			児童福祉法						

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	各区					
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	様々な理由で学校に行くことができない南区内の児童・生徒				対象数	単位
						約400	人
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	家庭でも学校でもない地域のより身近な場所で、多様な学びや社会で生き抜く力を育み、自己肯定感を高める居場所を設置し、区内在住の18歳までの児童・生徒とその保護者に対し、南区の地域資源を生かした多様な主体との共創により見守りや学び・相談の機会を提供し、安心できる居場所とすることで、児童・生徒の置かれている現状を変えるきっかけとする。					
8	事業内容（目的を達成するための手段）	・不登校支援や子育て支援に取り組む区内の団体等と共同し、泉ヶ丘、桜・美木多、光明池の各エリアに1箇所ずつ、様々な理由で学校に行くことができない子どもたちが様々な学びや社会で生き抜く力を育み、自己肯定感を高めることができる居場所を設置する（各居場所について週1回の頻度で運営）。 ・各居場所は、不登校や引きこもりなどに関する相談をより身近に受けられる環境を整えることで、子どもたちだけでなく、その養育者にも寄り添い、支援するための拠点とする。 ・設置した各居場所について積極的に広報を行うことで、これまで家庭や学校以外に居場所がなかった子どもと養育者にそうした施設の存在を知り、利用するきっかけにしたい。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	居場所を設置する施設(施設使用料)等					
10	公民連携・協働事業	地域で支援等に取り組んでいる団体との協働により実施					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	不登校引きこもり等で悩んでいる児童生徒の行動や意識の変容						
	当該目標を設定した理由	本事業は、様々な理由で学校に行けない児童生徒やその養育者に学校以外の居場所を設置することにより、それぞれの個に寄り添った適切な支援を提供することが目的であるため。					
	目標に対する実績	－					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	居場所開設日数	人		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標値	-	-	71	
			実績値	-	-		
			達成率	-	-		
当該指標を選定した理由	様々な理由で学校に行きづらくなった児童生徒や養育者が身近な居場所を利用することで、行動や意識の変容に結び付けるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	全市の不登校児童数から区の平均値を算出し、その一割程度の人数とした。					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	南区子どもの居場所推進事業	事業番号	215-020
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費（a）	0	0	0	0	1,122
13	財源内訳					
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源					1,122
14	人件費（b）	0	0	0	0	9,860
15	年間経費(c)=(a)+(b)	0	0	0	0	10,982

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R5	決算				R5	決算		
16	事業費内訳	R6	予算	190	190		R6	予算		
		R5	決算				R5	決算		
	その他保険料	R6	予算	59	59		R6	予算		
		R5	決算				R5	決算		
	会場等借上料	R6	予算	873	873		R6	予算		
		R5	決算				R5	決算		
		R6	予算				R6	予算		
		R5	決算				R5	決算		
		R6	予算				R6	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和4年度	令和5年度
17	① 開設日数	日		
	② 上記①にかかる年間経費	千円		
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位		
	備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	
----	--